

10. 里山の落ち葉かきを体験しよう！

○ねらい：里山の手入れの中で大切なものに、「落ち葉かき」がありました。落ち葉を田畑の肥料に使わなくなった今でも、落ち葉かきをすると何かいいことがあるのでしょうか？
あなたも、落ち葉かきを体験しながら、考えてみましょう。

●対象地：柏木公園・弥富公園南側樹林地ほか

なぜ落ち葉かきが必要なの？

里山では、秋になると大量の落ち葉が林床(※)に積ります。この落ち葉は、かつては農家の人々が田畑の肥料に利用していました。

落ち葉は、やがて森の土の栄養になっていきますが、落ち葉をそのままにしておいても、里山の植物にとっていいことばかりではないようです。

たとえば、林床の植物の中には、落ち葉が積ったせいで、根が張れなかったり、芽を出すことができなかったり、日光を受けられなかったりします。

このように、たくさんの種類の植物がある里山をつくるためにも、適度な落ち葉かきは必要なのです。

集めた落ち葉でたき火をしたり、焼き芋をしたり、落ち葉でプールやスベリ台やベットを作って遊んだり、家庭菜園などで使う肥料をつくって利用してみましょう。

※林床：樹林地の中の地面のこと。

注意事項：公園内での火の取り扱い、原則として禁止されています。

落ち葉のかき方と種の発芽

どこをかき取るか・・・

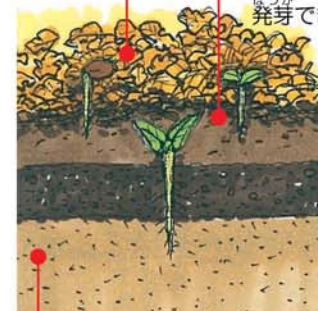
形の残った落ち葉と、細かく、黒くなった落ち葉の層を少しかきとります。

また、芽生えが進むようにかき取りは冬に行います。



落ち葉かきをしないと・・・

根が地面に届かず、芽も地上に出ないドングリ
落ち葉の下でスミレも
発芽できない



雨水が地面に届かず乾燥した土

落ち葉の利用 あれこれ

●落ち葉プール



●落ち葉すべり



●堆肥づくり

